

Wii専用ACアダプタ

RVL-002(JPN)

RVL-A-AD-JPN

取扱説明書

このたびは任天堂「Wii専用ACアダプタ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。とくに「安全に使用していただくために…」は、お使いになる方の健康、および機器の保護のために説明している部分ですので、必ずご覧ください。お使いになる方が小さなお子様の場合は、保護者の方がよく読んでご説明ください。なお、「取扱説明書」は、大切に保管して、いつでも見られるようにしてください。

※「Wii本体取扱説明書」と併せてお読みください。

セット内容

本セットには次のものが入っています。ご確認ください。

- Wii専用ACアダプタ [RVL-002 (JPN)] …… 1個
- 取扱説明書 …… 1枚

安全に使用していただくために… (必ずお読みください)

■ 使用上のご注意

ACアダプタは精密機器です。ACアダプタの取扱いに関して、次のことに注意してください。火災、感電、故障の原因となります。



警告

- 本品は、日本国内用Wii本体専用のACアダプタです。それ以外の機器では使用しないでください。
- 本品は、日本国内の家庭用電源 (AC100V) 専用です。海外などの異なる電源電圧では使用しないでください。
- 異常な音が出たり、煙が出たり、変なにおいがしているなどの異常を感じたら、すぐに本体の電源をOFFにし、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから任天堂サービスセンターに点検を依頼してください。
- 分解や改造、ご自分での修理は絶対にしてしないでください。
- 濡れた手や汗ばんだ手で抜き差ししないでください。
- 液体 (水やジュース、ペットの尿など) で濡れたACアダプタや異物が入ったACアダプタを使用しないでください。もし、濡れたり、異物が入ったときは、使用せずに任天堂サービスセンターにお問い合わせください。
- 湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しないでください。特に浴室など水を使用する場所では、絶対に使用しないでください。
- プラグやケーブルが破損したACアダプタを使用しないでください。



警告

- プラグやコードを口に入れたり、くわえたりしないでください。
- ACプラグを指や金属で触らないでください。
- ACアダプタ本体やコードを踏んだり、引っ張ったり、強く曲げたりしないでください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方 (タコ足配線) をしないでください。
- ACプラグに付着したホコリなどは、ACプラグをコンセントから抜いて、乾いた布で定期的に取り除いてください。
- コンセントからACアダプタのACプラグを抜き取る場合は、始めに本体の電源をOFFにして、ACプラグを持って、抜いてください。コードを引っ張るとコードが断線し、火災や感電の原因となります。
- ACアダプタ本体やコードをストーブやヒーターに近づけたり、加熱したりしないでください。
- コード (特にコードの根元付近) に無理な力が加わるような使い方をしないでください。
- 長期間使用しないときは、安全のため、コンセントからACプラグを必ず抜き、小さなお子様ACアダプタで遊ばないように手の届かない場所に保管してください。
- ACアダプタ本体やコードを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ACプラグは、コンセントにしっかり奥まで差し込んでください。
- 雷がなりはじめたら、安全のため、ACアダプタや本体に触らないでください。
- ペットがケーブルをかまないように注意してください。



注意

- 床に放置しないでください。
- Wii本体の接続および移動のときは、ディスクを取り出し、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタはプラスチックや金属部品で構成されています。燃やすと危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- コードを持って振り回さないでください。

■ 使用上のおねがい

- Wii本体に接続するときは、DCプラグの向きを確かめて、正しく接続してください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発油、アルコールでは絶対に拭かないでください。
- 安全にご使用いただくため、使用するときやコンセントに接続する前に、ACコード (特にコードの根元付近) やACプラグに傷や断線がないか点検してください。
- Wii本体の電源がONの状態やスタンバイモード中に、ACアダプタを抜かないでください。
- コンセントにプラグを差し込むとき、無理な力で差し込まないでください。